

事業活動ハイライト2018

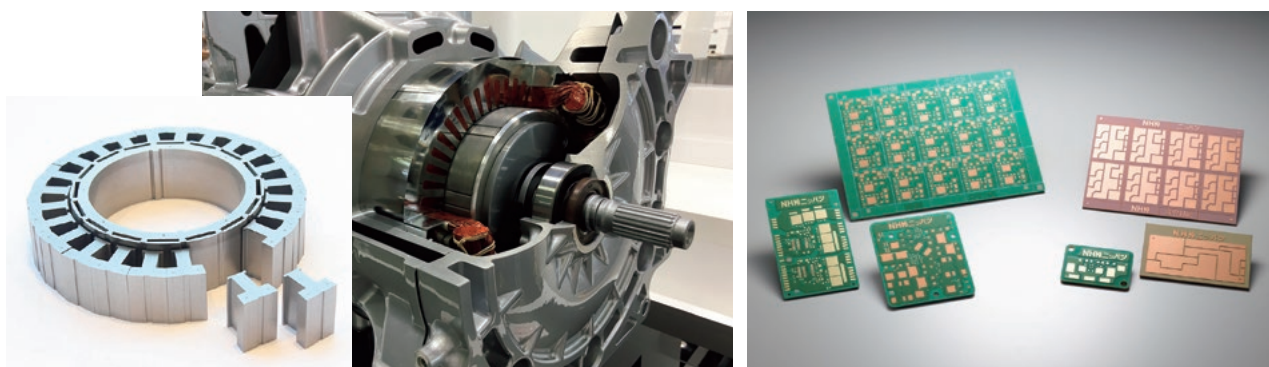
国内事業の積極展開

当社は豊かな社会の発展に向けて積極的な事業展開を進めています。

電動化事業推進室の新設

2018年4月1日、社長直轄の新しい組織として「電動化事業推進室」を新設しました。自動車の変革のキーワードといわれている「CASE^(注)」のうち、最も当社の持つ技術を生かすことができる「E(電動化)」に対応するものです。当社はこれまでも、「モーターコア」や「金属基板」など、自動車の電動化に対する製品づくりを行ってきましたが、新設された「電動化事業推進室」は、この延長上の製品のみならず、当社の持つ固有技術を駆使して、他社との差別化を図った次世代製品の開発・生産を目指します。

(注) Connected(コネクテッド)、Autonomous(自動運転)、Shared & Services(カーシェアリングとサービス)、Electric(電動化)の頭文字を取ったもの。



現在、量産している「モーターコア」(写真左)と「金属基板」

伊那第二工場を新設

精密ばね生産本部が、伊那第二工場を新設しました。自動車用精密ばねの増産に対応するもので、長野県伊那市にある当社グループ会社のニッパツフレックスに隣接して建設しました。延床面積7,100㎡の鉄骨2階建ての建屋が完成し、2018年11月22日、茅本社長をはじめ当社関係者とともに、地元の方などを招いて竣工式を行いました。同工場は19年6月から量産を開始しています。



新設された伊那第二工場



関係者が出席して行われた竣工式

宮田工場を新設

産機生産本部が、宮田工場を新設しました。現在、伊勢原工場で生産している半導体製造装置用部品の第2拠点として、長野県上伊那郡宮田村の化成部品第二工場の敷地内に建設しました。2018年1月より建設を開始し、19年3月に建屋が完成し、同年6月5日竣工式を行いました。現在、承認用サンプルを作成中です。



建屋が完成した宮田工場

トピックス

トップアスリートの採用と活躍事例

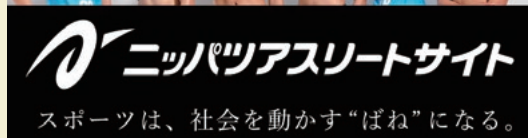
多様な人材の活躍を目指した取り組み

当社は、2015年からトップアスリートを採用して4年目になります。今春、全日本インカレ2連覇の実績をもち、五輪強化選手の陸上走高跳・仲野春花選手を採用し、陸上選手は4名になります。また2016年春から、なでしこリーグ2部「ニッパツ横浜FCシーガルズ」の冠スポンサーとして支援していますが、所属のサッカー選手2名(大島瑞希選手、平國瑞希選手)も雇用しています。

2018年陸上競技では、宮坂楓選手(三段跳)と平加有梨奈選手(走幅跳)が全日本実業団で優勝、竜田夏苗選手(棒高跳)が織田記念で2位となるなど、国内・海外の多くの大会に出場し、好成績を収めました。一方「ニッパツ横浜FCシーガルズ」は、2018年なでしこリーグ2部で2位になり、1部昇格のための入替戦に進出しました。惜しくも昇格はなりませんでした。当社アスリートの2人は中核メンバーとして活躍しました。

当社は、多様な分野で特に優れた能力をもつ人材を積極的に採用し、一人ひとりの活躍を支援しています。それぞれの分野で高い能力と個性をもつ人材は、周囲に好影響を与え、人材の多様性が新たな価値の創出へと結びつき、企業組織活動の好循環を促します。

こうした考えのもとで、トップアスリートを継続採用していますが、当社はグループ全体で、トップアスリートが競技人生を通じた自己実現ができるよう支援するとともに、今後の組織の一体感の醸成と従業員の士気向上も目指していきます。



左から平國、平加、仲野、宮坂、大島、竜田各選手



横浜スポーツ人の集いで宮坂(左)・平加両選手が優秀選手賞を受賞(2019年1月)

※当社所属選手を「ニッパツアスリートサイト」で紹介しています。

<https://nhkspg-athlete.com/>



社会貢献活動

当社主催のジュニアサッカー教室を開催

2019年7月、「ニッパツ・朝日新聞ジュニアサッカー教室」を開催しました。元日本代表の北澤豪氏らをコーチに招くとともに、女子サッカーなでしこ2部リーグのニッパツ横浜FCシーガルズ所属の大島選手・平國選手(当社従業員)もサポートに加わりました。子どもたちはプロが使用する球技場をところ狭しと走り回り、熱心に北澤氏らの指導を受け、思い出に残る夏の日を過ごしました。



139名の子どもたちが参加

陸上跳躍教室を開催

2019年1月、横浜国立大学グラウンドでNPO法人YNUスポーツアカデミー*(Yokohama National University Sports Academy)と当社が共同で「第3回YNU&ニッパツ走幅跳・三段跳陸上教室」を開催しました。未来のトップアスリート育成とともに、跳躍競技のレベルアップを目指す選手のために、当社が社会貢献活動の一環として行ったものです。当日は、当社アスリート従業員の宮坂選手と平加選手が指導役として参加しました。神奈川県下の中学生、高校生、陸上部の顧問の先生など71名が集まりました。

*横浜国立大学の協力支援を得て、地域の人びとを対象にした各種スポーツ普及・振興事業を実施している。



神奈川県下から集まった参加者

横国大の陸上競技場直走路完成で記念式典

横浜国立大学が、陸上競技場直走路の改修を行いました。横浜国立大学の陸上競技場は、宮坂選手と平加選手が練習拠点としており、当社アスリートが安心して練習ができる環境を提供するための支援として、劣化した直走路の改修費用の一部を寄付したものです。直走路は2018年9月下旬に完成し、10月5日に完成式典が行われました。これを機に、当社と横浜国立大学との間で「スポーツに関する覚書」を取り交わし、今後のさらなる連携を推し進め、スポーツを通じた社会貢献につなげていきます。



覚書を取り交わす当社吉村常務(左)と横浜国立大学の長谷部学長

テレビ出演

2018年9月、TBS系のテレビ番組「炎の体育会TV」に、当社の宮坂選手と竜田選手が出演しました。競技を通じたバラエティ企画で番組を盛り上げ、三段跳と棒高跳の魅力を伝えるとともに、従業員のモチベーション向上と当社のPRにも貢献しました。